10
2026
No. 667

ななお
商工会議所だより

Nanao Chamber Of Commerce And Industry

https://nanao-cci.or.jp
mail:office@nanao-cci.or.jp

七尾商工会議所 検索
七尾商工会議所 検索



能登広域経済連合、金城大学、龍王閣、粟津屋、NOTOA の皆さまとともに。

● CONTENTS ●

P2 金城大学インターンシップ成果報告会
P3 工業部会 視察/
年会費口座振替のご案内/最低賃金
P4 創業アカデミー
P5 景況結果
P6 セミナーのご案内/共済セミナー/
紙の手形・小切手利用廃止/訂正とお詫び
P7 青年部/災害ボランティア/行事カレンダー
P8 アクサ キャンペーン広告

若者の感性が能登の未来を拓く！

金城大学の学生たちが能登の事業者へ活性化策を提案

9月3日（木）、能登広域経済連合（旧称：能登経済復興広域連携協議会）は、金城大学の学生たちによる「インターンシップ成果報告会」を開催しました。

本事業は、令和6年能登半島地震からの経済復興を目指し、能登半島の持続可能な未来を構想するために実施したものです。参加した学生たちは、地域に深く根ざす3つの事業者（湯川温泉「龍王閣」、和菓子「粟津屋」、フィットネス施設「NOTOA」）に密着。現場で事業者の声を聞き、若者ならではの視点から経営課題の解決策を考えました。



金城大学によるプレゼンテーション

常識を覆す！3者3様のユニークな活性化提案

【龍王閣】

国内でも極めて稀な「源泉100%の自噴温泉」の価値を広く伝えるため、近隣の医療機関と連携し、院内に「湯治ポスター」を掲示。心身の癒やしの選択肢として温泉を提案しました。さらに、深刻な後継者不足の解決に向け、SNS で旅館への熱い想いを発信しながら、「事業承継者の公募 PR」を行うアイデアも示しました。



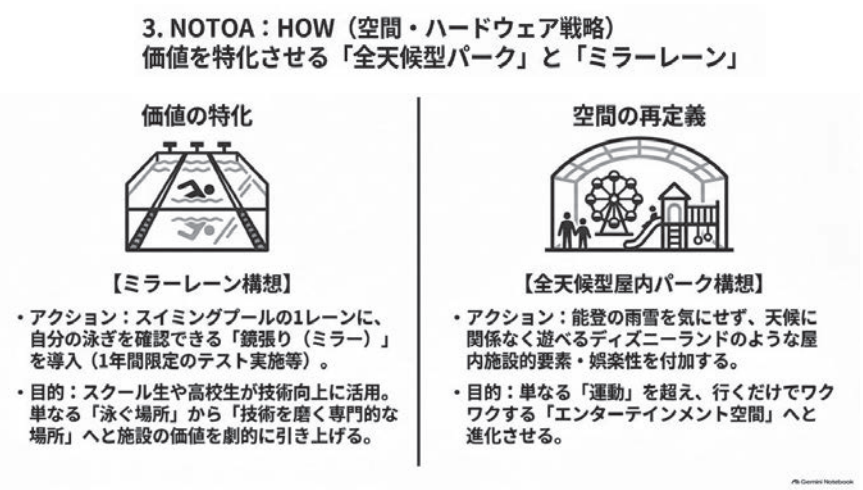
【粟津屋】

伝統の塩豆大福が人気の和菓子屋。日本海に面した立地を逆手に取り、「遠い・行きづらい」を「ドライブの楽しみ」に変える「体験型ローカルツーリズム」を提言しました。さらに、人手不足への対応策として「冷凍和菓子の自動販売機販売」、フィットネス施設「NOTOA」と連携した「健康志向のプロテイン和菓子」など、多角的な販売ルートを提案しました。



【NOTOA】

地域の健康を支える施設に、テーマパークのような「ワクワク感」を生み出すアイデアを提案。プールの1レーンを鏡張りにして自らのフォームを確認できる「ミラーレーン構想」をはじめ、子ども向けの仕組みを応用した「大人向けスタンプカード」、部活動に励む高校生へのジム無料開放など、既成概念にとらわれない空間づくりを提案しました。



「大人の常識」をぶち破る、若者の感性を地域に

閉会の講評では、金城大学の平子准教授が、「『ミラーレーン構想』のようなアイデアは、大人の固定観念からは決して生まれない。この常識にとらわれない若者の感性を地域にぶつけることこそ、学生が地域に入る最大の意義である」と語りました。限られた時間の中で膨大な情報を吸収し、現場と真摯に向き合った学生たちの学びと挑戦を高く評価しました。

また、本事業を一過性のイベントで終わらせず、大学による伴走支援を通じて、提案を能登に「定着」させていく方針を示しました。今後は、長期休暇を活用した活動頻度の拡大や、他大学も巻き込んだ「広域インターンシップ・プラットフォーム」の構築など、能登の復興と経済活性化に向けたさらなる展開が期待されます。

学生たちの柔軟な発想と地域への熱い想いが、事業者に新たな気づきをもたらし、能登の未来を切り拓く確かな一歩となりました。

工業部会

水素エネルギーの現状と未来の可能性を学ぶ
～「水素情報館 東京スイソミル」視察～

9月16日（水）・17日（木）、工業部会（高橋志栄部会長）ら7名が、次世代エネルギーの活用に向けた最新の知見を得ることを目的に、視察研修を実施しました。

「水素情報館 東京スイソミル」を訪問し、専門スタッフから水素エネルギーの基礎から具体的な活用事例、将来の可能性まで、詳しい説明を受けました。



1. 環境に優しく「貯めて運べる」水素の特徴

水素は、利用時に二酸化炭素（CO2）を排出せず、水しか生じないクリーンなエネルギーです。また、水をはじめ多様な資源から製造でき、大量かつ長期間「貯めて運べる」という特徴があります。

こうした特性から、季節や天候によって発電量が変動する太陽光などの再生可能エネルギーを蓄え、必要な時に活用する「調整力」としての役割が期待されています。

2. 再生可能エネルギーからつくる「グリーン水素」

館内では、太陽光発電の電力を使って水を電気分解し、水素を製造・貯蔵するシステムが展示されていました。

天候不順などで太陽光発電が十分にできない場合でも、貯蔵した水素を燃料電池で電気に変えて利用する仕組みを確認し、再生可能エネルギーと水素を組み合わせたエネルギー循環について理解を深めました。

3. 交通・産業・暮らしへ広がる水素利用

水素は、燃料電池自動車「MIRAI」をはじめ、燃料電池バス「SORA」、トラック、救急車など、交通分野での活用が進んでいます。

また、水素ステーションの整備、高圧充填に関する設備や資格、導入コストなど、普及に向けて解決すべき課題についても説明を受けました。



4. 体験を通じて水素の仕組みを実感

館内では、自転車をこいで発電した電力を使い、水を電気分解して水素をつくる体験展示もあり、参加者が実際に体験しました。

「水素をつくるためにもエネルギーが必要」という基本的な仕組みを体感することで、水素エネルギーについて、より身近に理解することができました。

今回の視察を通じて、脱炭素化に向けた世界的な動きの中で、水素エネルギーが持つ多面的な可能性と、社会実装に向けた取り組みについて理解を深めることができました。

「羽田クロノゲート」視察

「羽田クロノゲート」では、最先端の自動仕分けシステムなどを活用した、省力化や効率的な業務運営について視察しました。

七尾地域においても、今後、生産ラインの効率化や物流体制の見直し、DXの活用は重要な課題となります。今回の視察で得た知見を、地域企業の生産性向上に活かしてまいります。



会員の皆様へ

年会費口座振替のご案内

11月18日に皆様のご指定口座から年会費を口座振替させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

なお、お振込みの方は請求書をご送付させていただきますので、お手続き方よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ

七尾商工会議所 総務課

TEL 54-8888



石川県最低賃金

令和8年 10月3日から

1,113円（時間額）

59円UP

事業主の皆さまへ 賃金引き上げの支援策

石川労働局では事業主の皆さまの賃上げを支援しています。

業務改善助成金・キャリアアップ助成金（賃金規定等改定コース）

働き方改革推進支援助成金・人材開発支援助成金・人材確保等支援助成金・より高い処遇（雇用管理制度・雇用環境整備助成コース）

への労働移動等への支援

支援策の詳細はHPをチェック

（R8.4）



『令和8年度 七尾創業アカデミー』が開幕



◇ 第3講 「経営」「財務」 ～創業アイディアを具体化しよう～

9月3日(木)、当所にて「七尾創業アカデミー第３講」を開催いたしました。講師には、中小企業診断士の松本悠司氏（まつもとマネジメント考房）をお迎えし、創業に必要な補助金･融資、創業コンセプトの考え方、具体的な創業策について、具体的な例を交えながら講義をしていただきました。

受講生からは、「講義を聞いて創業の道筋が具体化したことにより、少し安心できた･自信を持てた」「具体的な数値を考える必要性を強く感じた」「戦略をより明確にする方法を勉強できた」などの声が寄せられました。

自身の創業アイディアを具体的な例と結び付けて、考えを深める有意義な機会となりました。



◇ 第4講 「営業」と「お金」の基本を学ぶ

9月10日（木）、当所にて七尾創業アカデミー第4講を開催し、明道コンサルティング代表・中小企業診断士の竹内真一氏を講師に迎え、「辛いけど楽しい創業と誰にでもできる営業の話」をテーマに講義が行われました。

講義では、創業時に必要となる商売の基本として、



「誰に」「何を」「どのように売るのか」を考えることの重要性について解説。BtoB・BtoCの違いや、有形・無形商品の特徴、新規顧客の獲得や既存顧客の維持など、売上を伸ばすための5つの原則について学びました。

また、新規開拓と販路開拓の考え方、営業と販売の違いについても触れ、「物を売るのではなく、自分と自分の仕事を伝えることが大切」と説明。さらに、営業とお金は切り離せないとして、売上だけでなく代金回収までが営業の仕事であることを学びました。

最後に、創業のポイントとして「小さく初めて大きく育てる」ことや、経営知識の習得、緻密な計画、冷静な判断の重要性について紹介され、受講者は創業後の経営を見据えながら、営業の基本と事業を継続していくための考え方を学ぶ機会となりました。

◇ 第5講 従業員雇用と労務管理の実務ポイントを学ぶ

9月17日（木）、七尾創業アカデミー第5講において、石川県中小企業診断士会の中宮浩之氏（中小企業診断士・社会保険労務士）を講師に迎え、「従業員を雇用する際の注意点、雇用関連の助成金」と題した講義が開催しました。

講義前半では、労働保険・社会保険の加入手続きや法定福利費の負担をはじめ、雇用契約書（労働条件通知書）の書面交付、従業員10人以上の事業所に義務付けられる就業規則の作成・周知、36協定による時間外労働の上限規制など、労務コンプライアンスの基本が詳しく解説されました。また、法令改正が進むハラスメント防止対策や求職者を惹きつける求人票の書き方についても説明がされました。後半では、雇用保険関連助成金が取り上げられ、受講者の関心が高いキャリアアップ助成金や業務改善助成金、両立支援助成金の活用要件と、計画提出や解雇不認可・コンプライアンス維持といった支給申請のポイントが提示されました。

受講者アンケートでは、「雇用手続き」や「コンプライアンス推進」が特に役立った内容として挙げられ、就業規則や36協定への関心の高さも窺えました。参加者からは「会社や従業員、信用を守るための必須条件だと再確認できた」との前向きな声が寄せられました。



七尾商工会議所「景況・業況動向調査結果報告」
（2025年第3四半期：令和8年4月～6月）

当所では、会員事業所131社のご協力を得て景況調査を実施しました。結果の概要は次のとおりです。

実 施 期 間：令和8年7月11日～7月31日
有効回答数：129件（オンライン68件、書面73件）
回 答 形 式：選択回答（複数回答可）および自由回答

◆今期

DI	景況感	売上高	売上単価	仕入原価	資金繰り	採算性
全産業	27.1	19.1	52.8	▲66.3	28.0	8.2
製造業	42.3	28.8	67.3	▲63.5	42.3	1.9
建設業	20.8	20.8	51.4	▲83.3	22.2	4.2
小売業	6.3	▲4.2	52.1	▲66.7	29.2	18.8
卸売業	38.9	11.1	61.1	▲50.0	38.9	44.4
サービス業	32.2	26.1	44.6	▲57.6	21.7	2.2

◆来期

DI	景況感	売上高	売上単価	仕入原価	資金繰り	採算性
全産業	16.4	7.2	43.4	▲47.8	25.4	7.4
製造業	16.0	12.0	56.0	▲56.0	24.0	▲10.0
建設業	21.4	▲2.9	48.5	▲57.1	27.1	15.2
小売業	▲17.4	▲16.7	27.1	▲50.0	16.7	▲2.1
卸売業	7.1	0.0	37.5	▲18.8	50.0	31.3
サービス業	31.8	26.1	42.4	▲40.2	25.0	12.0



とにかく好調 50≦DI　好調 5<DI<50　まあまあ -5≦DI≦5　不振 -50<DI<-5　きわめて不振 DI≦-50

DIディフュージョン・インデックスとは『増加・上昇・好転』の割合（%）から『減少・低下・悪化』の割合（%）を差し引いた指数です。

◆景況感の動向

売上高や販売単価の上昇により、景況感は全体として回復傾向を示しています。一方で、資材・原材料・人件費等の高騰が依然として大きく、利益面の改善は不十分な状況です。特に冬季要因や人口減少の影響を受け、小売・サービス業を中心に先行きへの慎重姿勢が目立ちます。来期は売上増の鈍化が見込まれるものの、仕入価格上昇の緩やか化による収益の安定が期待されています。ただし、需要の力強さに欠け不透明感が残ります。

◆業種別の特徴

製造業：受注回復と単価上昇で景況感は改善したものの、高い仕入コストにより採算性の低迷が続いています。
建設業：復旧需要で受注・資金繰りともに堅調ですが、資材高や人手不足が落ち着きの兆しを見せています。
卸売業：単価上昇で採算は改善傾向にある一方、取引先の動向に左右され景況感は横ばいにとどまります。
サービス業：観光・外食の回復で売上は好調ですが、人件費の増加が利益を圧迫し伸び悩んでいます。

◆経営課題

「仕入単価の上昇」（23%）と「経費の増加」（20%）が上位を占め、燃料費や物流費、人件費等の上昇が経営を圧迫しています。特に小売・サービス業での価格転嫁難が課題です。また「従業員の確保難」（19%）や「後継者不在」（11%）など人材・承継面での課題も深刻です。震災復旧の進展差による資金繰り負担や人口減少といった構造的要因も加わり、安定した受注・売上確保への取り組みが強く求められています。

◆今後のポイント

地域経済の回復に向けて、今期の結果から特に次の3点が重要と考えられます。

① 原価管理と価格転嫁の推進
仕入単価や各種経費の高止まりが続く中、原価管理の徹底や業務効率化を進めるとともに、付加価値の向上を通じた適正な価格転嫁が不可欠です。

② 人材確保・育成と省力化
慢性的な人員不足に対し、採用・定着対策の強化に加え、デジタル化や設備投資による省力化を進め、生産性向上を図ります。

③ 復旧支援と需要・販路の拡大
事業者ごとの復旧差に応じた丁寧な支援を継続しつつ、地元消費や観光需要の喚起、新たな販路開拓で売上確保に繋げます。

当所では、補助金活用や専門家相談などを通じ、引き続き事業者の皆様に寄り添い、経営課題の解決に向けた伴走支援を行ってまいります。

「景況・業況動向調査結果報告レポート」QRコード

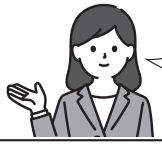
アンケート調査のご協力のお願い

～ 最近の景況・業況の動向（調査対象期間：令和8年7月～9月）～

当所では、管内の景況動向や経営状況を把握するため、会員の皆様にご協力をいただき、標記調査を実施いたします。ご多忙のところ恐れ入りますが、アンケート調査へのご協力をお願い申し上げます。

右のURLまたはQRコードより、**令和8年10月30日（金）まで**にご回答くださいますよう、よろしくお願いいたします。

URL: https://nanao-cci.or.jp/keikyo-e/



七尾地域の企業の業況と今後の見通しや問題点等を把握するために景況調査を行っております。ぜひ皆様の声をお聞かせください。

売上アップのための写真・動画撮影セミナー開催

9月16日（水）、当所にて「総売上アップのための写真・動画撮影セミナー」を開催しました。当日は、IT・SNS分野の専門家である守部和孝氏（石川県よろづ支援拠点コーディネーター）を講師に迎え、Instagramで商品や店舗の魅力を効果的に伝えるための写真・動画撮影のポイントについて学びました。

写真撮影では、スマートフォンのグリッド線を活用した構図の作り方や、商品をまっすぐ撮影することの重要性、背景や光の当て方によって商品の印象を変える方法など、すぐに実践できるテクニックを紹介。「美味しそう」「欲しい」と感じてもらうためには、ありのままを撮影するだけでなく、ターゲットや利用シーンに合わせた適度な演出が大切であることを学びました。

また、リール動画については、手ブレを抑えた撮影方法や、スライド・サークルショットなどのカメラワーク、テロップを意識した被写体の配置、1080p・30fpsなどの基本設定について解説。特に、冒頭2秒で興味を引く「フック」の重要性についても説明がありました。

参加者は、写真や動画を通じて自店ならではの魅力を発信するための具体的な方法を学び、SNSを活用した情報発信への理解を深めました。



共済セミナーの開催

9月28日（月）、当所にて会員事業所の福祉制度の充実を目的とした共済セミナーをアクサ生命保険㈱と共催で開催しました。

当日は会員17名が出席し、共済制度への理解を深めました。

はじめに、小川専務および浅岡正剛アクサ生命保険㈱北陸支社長よりご挨拶があり、その後、税理士法人中山会計　代表税理士の小嶋純一氏を講師に迎え、「インフレ時代を勝ち抜く！最新の決算対策と『事業保障・資産防衛』の新常識～借入金・人件費増加のリスクに備え、会社と家族を守る　賢い資金形成術」をテーマにご講演いただきました。

インフレや経営環境の変化を踏まえた決算対策や資産防衛について、具体的な事例を交えながら解説いただき、参加者にとって今後の事業経営や資産形成について考える貴重な機会となりました。

今後も、会員事業所の福祉制度の充実に向け、さまざまな取り組みを継続してまいります。





訂正とお詫び

ななお商工会議所だより9月号「2026年全国あんざんコンクール七尾大会」の記事において、掲載写真に誤りがございました。

関係者の皆さま、読者の皆さまにご迷惑をおかけしましたことを、お詫び申し上げます。



青年部だより

9月定例会　日本商工会議所青年部 第46回北陸信越ブロック大会 須坂大会に参加

9月12日（土）、七尾商工会議所青年部（会長：五十嵐　亮）は、日本商工会議所青年部第46回北陸信越ブロック大会 須坂大会 「想いが繋がる新たなかたち。～知己を見つめ、未来を描く～」 に参加しました。

当日は、五十嵐会長他10名が参加しました。今回の須坂大会は，北陸信越地区、全国各地の青年部が登録し登録者数は852名でありました。

記念式典では、ご来賓の祝辞、北陸信越ブロック商工会議所青年部連合会会長の挨拶、次年度会長予定者、次年度開催地等が発表されました。

記念式典終了後、各分科会に分かれ七尾のメンバーは、「YEG BUSINESS CONNECT ～全国のYEGとビジネスのしよう～」に参加し、他単会の参加メンバーと活発な意見交換を行い、ビジネスチャンスを模索しました。

分科会終了後、信州須坂・関谷温泉 湯っ蔵んどの大懇親会に参加し参加した他単会メンバーと交流しました。



会場前にて



挨拶する山崎 亮北陸信越ブロック商工会議所青年部連合会会長

復旧ボランティア活動を実施

8月27日に発生した記録的な大雨により被害を受けた地域へ、9月26日（土）、当所の会員事業所と職員含め25名で羽咋市を訪問し、復旧ボランティア活動を実施しました。

当日は、増水により河川周辺に堆積した砂利の撤去をはじめ、県道上に押し寄せた土砂を取り除くなど、地域の生活道路の安全確保に向けて声を掛け合いながら汗を流しました。

ご協力いただきました会員事業所の皆様に心より感謝申し上げます。

参加事業所：㈱スギヨ・㈱ａｋａｔｏｍｅ・㈱北國銀行・のと共栄信用金庫・七尾市議会・七尾商工会議所青年部・女性会



行事カレンダー2026

10月 October

16	金	青年部理事会
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	事業承継相談会
22	木	中東情勢・原油価格上昇等対応特別相談会 みんなで集おう会2（サービス業部会）
23	金	七尾青色申告会・七尾税務署管内青色申告会連合会定時総会
24	土	
25	日	第238回珠算能力検定、第148回段位認定試験
26	月	
27	火	石川県商工会議所女性会連合会会員大会
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	第17回みなとオアシスSea級グルメ全国大会inななお

11月 November

1	日	第17回みなとオアシスSea級グルメ全国大会inななお 香りの記念日イベント
2	月	
3	火	
4	水	正副会頭会議
5	木	知財総合支援窓口
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	整理整頓セミナー
13	金	
14	土	
15	日	第174回日商簿記検定

『商工会議所福祉制度キャンペーン』実施のお知らせ

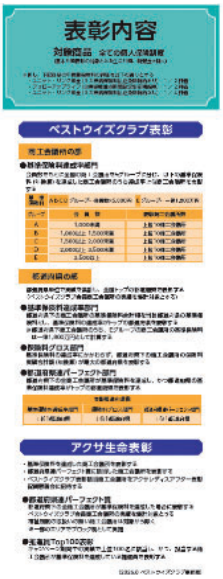
ベストウイズクラブでは、「福祉制度キャンペーン」を9/1～11/30に実施いたします。
（※9/1～9/30はアクサ単独キャンペーンとして実施）

本キャンペーンは、『商工会議所福祉制度』を会員の皆様にご理解いただき、会員事業所の福祉向上にお役立ていただくことを主な目的としています。

『商工会議所福祉制度』は、経営者・役員の皆様の保障や退職金準備他、入院・介護・老後に備えた様々な保障ニーズにお応えするものです。

商工会議所職員とアクサ生命保険株式会社の担当社員がお伺いした際には、是非ご協力いただきますようお願い申しあげます。







アクサ単独キャンペーン
2026年9月1日～9月30日

ベストウイズクラブ福祉制度キャンペーン
2026年10月1日～11月30日

※「ベストウイズクラブ」は、商工会議所共済制度・福祉制度の普及・推進を目的とし全国各地の商工会議所およびアクサ生命保険株式会社により運営されている組織です。

連絡先
七尾商工会議所
TEL.0767-54-8888



アクサ生命

アクサ生命は、商工会議所と協力し、会員事業所の各種ニーズ（弔慰金・見舞金制度、退職金制度、リスク対策や事業承継など）を共済制度／福祉制度でサポートしています。

アクサ生命保険株式会社
北陸支社　金沢営業所
〒920-0918
石川県金沢市尾山町9-13
金沢商工会議所会館 3F
TEL 076-221-7728